

熊本市災害対策本部機能強化業務委託受託事業者選定審査会
審査基準

【必須要件】

必須項目		主な評価観点	可否
1	技術要件	基本仕様書に規定している技術要件を満足しているか。	可・否
2	特許権等の排他的権利 又は特殊な技術	地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）第11条第1項第1号に該当するような物品等又は特定役務が含まれているか。	可・否

【評価項目】

評価項目		主な評価観点	配点
3	本業務への理解	本業務の目的や解決すべき課題を正しく理解しているか。 提案内容が業務目的に整合しているか。 分散している執務室間の情報共有課題を理解しているか。	15
4	災害対応への理解	災害対応・災害対策本部運営について理解しているか。 災害時特有の運用課題を理解しているか。 情報共有・指揮統制を意識しているか。	5
5	操作性・運用性	不慣れな職員でも直感的に操作できるか。 緊急時でも迅速に操作できるか、運用が煩雑でないか。 誤操作に対する対策が施されているか。 効率的なレイアウトが提案されているか。	10
6	安定性・信頼性	安定稼働するか、フリーズ・接続断等が発生しにくいのか。 映像・音声安定しているか。 長時間連続運用時や災害時の負荷ピークでも安定稼働可能か。 災害対応を目的とした同様のシステムを導入した実績があるか。	10
7	情報共有性・一体感	分散した執務室間での一体的な本部運営が図られているか。 指揮命令・状況把握が円滑に行えるか。 音声・映像遅延が少ないか。	10
8	冗長性・障害対応	障害時の代替手段があるか、一部故障時でも継続運用可能か。 切替・復旧操作が容易か、職員による一次対応が可能か。 予備品は準備されているか。	5
9	保守・緊急支援体制	緊急時のサポート体制は十分か。（休日夜間対応、災害時優先対応、駆け付け時間） 平常時の支援・保守体制、保守点検費用は適正か。 同様のシステムについて保守管理を行っている実績はあるか。	15

評価項目		主な評価観点	配点
10	機器選定・システム設計	基本仕様書に示したシステム改修案の水準を満たすとともに、必要十分な機能・性能を持っているか。 災害時運用を考慮した機器構成か。 安定性・耐久性を考慮した選定か。	10
11	研修・訓練支援	操作研修、災害訓練支援、マニュアル・FAQ 整備、引継ぎ容易性についての記述がされているか。	5
12	追加の提案	本業務の目的達成に有効であり、本市の災害対応力、運用性又は情報共有性の向上や業務負荷軽減に資する、基本仕様書に記載のない追加提案があれば、加点を行う。	5
13	業務計画、実施体制	適正・安全・確実に遂行できる計画となっているか。 スケジュール、工程管理、調整、統括責任者、技術者構成、協力会社管理等	5
14	提案金額	最低価格との比率で採点（配点×最低金額／提案金額）	5
	計		100

【審査基準】（上記「評価観点」に計算方法が記載されているものを除く）

		配点 5 点	10 点	15 点
A 評価	きわめて優れている	5	10	15
B 評価	優れている	4	8	12
C 評価	普通	3	6	9
D 評価	やや劣る	1	2	3
E 評価	劣る	0	0	0